



2026年7月2日

各 位

会社名 株式会社識学  
代表者名 代表取締役社長 安藤 広大  
(コード番号 7049 東証グロース)  
問合せ先 経理財務部長 宮下 貴行  
(TEL: 03-6821-7560)

## 連結子会社によるマッハ機器株式会社の株式の取得（孫会社化） に関するお知らせ

当社は、2026年7月2日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社識学グロースキャピタルパートナーズを通じてマッハ機器株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長 名原 健治）の発行済株式の100%を取得（孫会社化）することを決議し、株式譲渡契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 株式の取得の理由

当社は、組織コンサルティング事業で培った「識学ノウハウ」を核とした多層的成長モデルのもと、長期保有型 M&A を第二の恒常的成長エンジンと位置づけており、その取り組みの一環として、マッハ機器株式会社（以下「対象会社」といいます。）の株式取得を決定いたしました。

対象会社は、スーパーマーケットの総菜部門やコンビニエンスストア等をエンドユーザーとする業務用フライヤー及び食用油ろ過装置（ろ過機）等の業務用厨房機器の販売並びに保守・メンテナンス事業を、販売代理店網を活用しながら全国で展開しております。フライヤー本体の販売に加え、ろ過材等の周辺商材によるストック型の売上もあわせ持ち、直近3年間でフライヤー本体の売上高は約1.5倍に拡大するなど、本体販売とストック売上がほぼ同程度の比率で構成されるバランスの取れた事業モデルを構築しております。

看板商品「M クリーン」は、食用油のリユースにより油の使用量を抑制することで顧客に経済的メリットと揚げ物の品質向上に寄与し、競合他社製フライヤーの使用顧客にも提供可能なため、既存市場における横展開の余地が大きく、大型チェーンの新規開店に伴う特需も安定的に獲得してきた営業実績を有しております。

国内の総菜（中食）市場は2024年に11兆円規模へ成長し（出典：一般社団法人日本惣菜協会「2025年版惣菜白書」）、国内業務用厨房機器市場も同年度に前年度比15%増の7,123億円まで拡大しております（出典：日本厨房工業会「業務用厨房機器に関する実態調査」）。加えて、人手

不足を背景とした業務自動化・省エネルギー化のトレンドや小型で高効率なフライヤーの増設需要が継続しており、対象会社が主力とする業務用フライヤー及びろ過装置市場は今後も底堅く推移することが見込まれます。

このような状況のもと、当社は、対象会社に「識学ノウハウ」を導入するPMI（買収後統合）を実施してまいります。対象会社の組織診断においては改善余地が大きいことが確認されており、責任の明確化・数値目標に基づく行動管理・権限移譲を徹底することで、営業活動の仕組み化と生産性向上を実現し、ストック売上の積み上げと新規本体販売の双方を計画的に伸長させることで、対象会社の企業価値を最大化できると判断し、今般、対象会社を連結子会社化することといたしました。

本件は、当社が掲げる「M&A・PMIを通じた連結収益基盤の確立」に資する取り組みであり、識学グループとしての組織構築ノウハウをPMIに活用し、対象会社の組織力・収益性を計画的に引き上げることで、グループ全体の企業価値向上に貢献してまいります。

## 2. 本株式取得を行う連結子会社の概要

(1)	名 称	株式会社識学グロースキャピタルパートナーズ
(2)	所 在 地	東京都品川区大崎二丁目9番3号 大崎ウエストシティビル1階
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 池浦 良祐
(4)	事 業 内 容	買い手としてのM&Aの実施や対象会社のPMIの実行等を含む子会社管理
(5)	資 本 金	1百万円
(6)	設 立 年 月 日	2024年9月20日
(7)	持 分 比 率	当社が発行済株式の100.0%を保有する完全子会社であります。

## 3. 異動する子会社（マッハ機器株式会社）の概要

(1)	名 称	マッハ機器株式会社	
(2)	所 在 地	東京都江東区木場2-7-15	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 名原 健治	
(4)	事 業 内 容	業務用フライヤー及び食用油ろ過装置（ろ過機）等の業務用厨房機器の販売並びに保守・メンテナンス事業	
(5)	資 本 金	100百万円	
(6)	設 立 年 月 日	2015年8月10日	
(7)	大株主及び持株比率	株式会社ラックランド（100.0%）	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（単体）			
	決 算 期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
	純 資 産	346百万円	394百万円	452百万円
	総 資 産	1,014百万円	979百万円	1,019百万円
	1株当たり純資産	173千円	197千円	226千円
	売 上 高	1,694百万円	1,783百万円	1,882百万円
	営 業 利 益	85百万円	79百万円	96百万円
	経 常 利 益	78百万円	73百万円	91百万円
	当 期 純 利 益	50百万円	47百万円	60百万円
	1株当たり当期純利益	25千円	23千円	30千円
	1株当たり配当金	0.00円	0.00円	0.00円

#### 4. 株式取得の相手先の概要

(1)	名 称	株式会社ラックランド (東証プライム市場上場、証券コード9612)	
(2)	所 在 地	東京都新宿区西新宿三丁目18番20号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 笠原 弘和	
(4)	事 業 内 容	建築・内装・設備・厨房・冷凍冷蔵設備に精通し、店舗・商業施設・ホテル・物流倉庫等の商空間の企画・設計・施工・メンテナンスを行う商空間の総合サービス業	
(5)	資 本 金	4,742百万円(2025年12月31日現在)	
(6)	設 立 年 月 日	1970年5月15日	
(7)	純 資 産	13,111百万円(連結、2025年12月期)	
(8)	総 資 産	29,740百万円(連結、2025年12月期)	
(9)	大株主及び持株比率	野村信託銀行株式会社(取引先信託口) 13.78% 株式会社エイ・クリエイツ 13.35% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 7.30% ガリレイ株式会社 5.90% 株式会社SBI証券 3.34% (2025年12月31日現在)	
(10)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。

## 5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株（議決権の数：0個）（議決権所有割合：0.0%）
(2)	取得株式数	2,000株（議決権の数：2,000個）
(3)	取得価額	普通株式 373百万円 アドバイザー費用（概算） 42百万円 合計（概算） 415百万円
(4)	異動後の所有株式数	2,000株（議決権の数：2,000個）（議決権所有割合：100.0%）

（注1）本株式の取得は、当社の完全子会社である株式会社識学グロースキャピタルパートナーズを通じて行います。取得後、対象会社は当社の連結子会社となります。

（注2）取得価額につきましては、法務・財務に関する調査の結果等を合理的に勘案のうえ、当事者間の協議を経て決定しております。

（注3）取得価額の調達につきましては、一部を自己資金とし、一部を金融機関からの借入とする予定であります。

## 6. 日程

(1)	取締役会決議日	2026年7月2日
(2)	契約締結日	2026年7月2日
(3)	株式譲渡実行日	2026年7月31日（予定）

## 7. 今後の見通し

本件に伴う当社の2027年2月期の連結業績及び財務状況に与える影響につきましては、現在精査中であり、影響額を精査し、開示が可能となった時点で速やかに公表する予定であります。

以上